

令和 5 年 度

定期監査（工事監査）結果報告書

伊予市監査委員

監 査 結 果 報 告 書

(工 事 監 査)

1 監査の対象

I (教建) 第 86 号 中山小学校教室棟長寿命化改良工事

II (都建) 第 6 号 消防団第 4 分団第 4 部 (上三谷) 詰所新築工事

2 監査の期間

令和 6 年 1 月 30 日から 31 日まで

3 監査の実施要領

監査対象として、抽出により上記工事の監査を実施した。当監査は、あらかじめ対象工事の担当部局から設計図面等、工事関係書類の提出を求め審査するとともに、現場調査を行い、その施工状況の実態を把握しながら実施したものである。

なお、当監査の実施にあたっては、協同組合 総合技術士連合へ技術士の派遣を依頼し、技術上の意見を参考として取り入れた。

4 監査の結果

協同組合 総合技術士連合から提出のあった「令和 5 年度伊予市工事技術調査報告書」と併せ、対象工事の書類及び現場を監査した結果、概ね良好と認められた。

しかしながら、次の個別工事の所見で示すとおり、一部に改善・検討を要する事項が見受けられたので、適正な対応に努められたい。

なお、細部にわたる事項、その他軽易な事項については、同「工事技術調査報告書」の指摘のとおり、その都度関係者に指導したので記述は省略した。

5 個別工事についての所見

I. (教建) 第 86 号 中山小学校教室棟長寿命化改良工事

(1) 工事の概要

① 工事場所

伊予市中山町出渕 2 番耕地 143 番地

② 工事受注業者

株式会社 大江工務 (請負額 219,318,000 円)

③ 委託設計業社

株式会社 鳳建築設計事務所

④ 工 期

令和 5 年 5 月 10 日から令和 7 年 1 月 10 日まで

⑤ 工事担当課

学校教育課

⑥ 工事概要

敷地面積 : 8,329.00 m²

建築面積 : 597.39 m²

延床面積 : 1,348.56 m²

用 途 : 小学校

構造規模 : 鉄筋コンクリート造 3 階建て

(2) 書類調査における所見

工事関係資料として提出された関係書類を基に、本工事の事業目的・計画、事前調査、設計、積算、入札・契約、施工監理・監督、検査等の各段階における技術的事項の実態を審査した。その結果は、総括的には概ね良好であり評価できるものと判断されるが、下記の事項について留意されたい。

ア 屋上シート防水改修について、樋樋を既存の内部に設置する方法を採用しているが、当初より配水管が小さくなる上に、近年は降水量も増加しているため、排水能力の低下が懸念される。設計事務所に依頼して改修後の排水能力の確認を行うことを推奨する。

イ 積算の照査について、担当部署に技術者がいない場合は、他部署の技術者の協力を得て適正に実施するようにお願いしたい。

ウ 施工計画書は、総合工程表から判断し、工事着手予定日、提出予定日、受付日、承認日等を示した提出チェックリストを事前に作成し管理することが望ましい。

エ 総合施工計画書は、現場所長の当該工事独特の条件を踏まえた、現場運営方針を示すものであるため、事前に示された発注者や監理者の

重点管理項目を受けて、どのように具現化するかの方針を示していただきたい。

オ 建設副産物処理計画について、最終報告書には、最終処分所までの経路図や写真を添付して、ルールに則り確実に処理している証拠を示す必要がある。できれば単独の計画書としてまとめて整理されることを推奨する。

カ 写真や施工報告書の管理について、実施証拠書類として、完成後見えなくなる部位の品質を証拠立てる重要な記録であるため、特に重要管理項目に対しては明確で分りやすく区別し整理することが望ましい。

キ 毎月 1 回実施される安全協議会の配布資料や議事録が保存されていない。労働安全衛生の管理業務は非常に重要な事項であり、管理・指示内容を正確に記録する必要があるため、早急に改善を求める。

ク 関係書類の管理方法について、内容の異なる書類を時系列に並べて一つのファイルに保存していたが、他課と同様に、内容別にファイルを分けた方が管理しやすいと思われる。市役所内で保存方式を統一させることが望ましい。

(3) 工事現場実査における所見

当日の現場は、出来高が 100%となっており、既に使用が始まっている状況であった。

工事の出来形に関しては、目視できる範囲の状況では良好であると判断する。内部の見え隠れ個所の施工に関しては、書類調査時に工事写真にて、施工状況の確認を行った。

Ⅱ. (都建) 第 6 号 消防団第 4 分団第 4 部 (上三谷) 詰所新築工事

(1) 工事の概要

① 工事場所

伊予市上三谷甲 1497-4 の一部

② 工事受注業者

株式会社 西岡総合建設 (請負額 24,434,740 円)

③ 委託設計業社

高井建築設計事務所

④ 工 期

令和5年9月22日から令和6年3月20日まで

⑤ 工事担当課

都市整備課

⑥ 工事概要

敷地面積：76.31 m²

建築面積：27.93 m²

延床面積：51.95 m²

用 途：詰所

構造規模：鉄骨造 2階建て

最高高さ：7.6m

地 業：地盤改良（深層混合処理工法）

工事範囲：建物の新築に伴う建築主体・電気設備・機械設備工事

（2）書類調査における所見

工事関係資料として提出された関係書類を基に、本工事の事業目的・計画、事前調査、設計、積算、入札・契約、施工監理・監督、検査等の各段階における技術的事項の実態を審査した。その結果は、総括的には概ね良好であり評価できるものと判断されるが、下記の事項について留意されたい。

ア 施工計画書は、総合工程表から判断し、工事着手予定日、提出予定日、受付日、承認日等を示した提出チェックリストを事前に作成し管理することが望ましい。

イ 総合施工計画書は、現場所長の当該工事独特の条件を踏まえた、現場運営方針を示すものであるため、事前に示された発注者や監理者の重点管理項目を受けて、どのように具現化するかの方針を示していただきたい。

ウ 建設副産物処理計画について、最終報告書には、最終処分所までの経路図や写真を添付して、ルールに則り確実に処理している証拠を示す必要がある。できれば単独の計画書としてまとめて整理されることを推奨する。

エ 毎月1回実施される安全協議会の配布資料や議事録が保存されていない。労働安全衛生の管理業務は非常に重要な事項であり、管理・指示内容を正確に記録する必要があるため、早急に改善を求める。

(3) 工事現場実査における所見

当日の現場は、出来高が 20%弱となっており、鉄骨の軸組が完了した状況であった。特に小規模な工事となっているため、仮囲い等は簡易なものとなっており、許可証等の表示も借地で行われているような状況であった。

工事の出来形に関しては、目視できる範囲の状況では良好であると判断する。その他の工事に関しては、書類調査時に工事写真にて、施工状況の確認を行っている。

6 おわりに

監査対象となった 2 件の工事について、以上の留意点はあるものの、概ね適正に施工されていることが確認できた。

公共事業の遂行に関しては、発注者である市、設計業者及び工事請負者が一体となり、事業目的及び計画を明確にし、それらを共有するとともに研鑽を深めながら、個々の技術力の向上に努められ、行政として市民への十分な説明責任を果たすことを期待する。

市は工事技術調査の結果における提言を活かし、今後も、安全管理の徹底を図るとともに、適正で円滑な施工に努められたい。